

令和5年4月21日

市政記者各位

福岡外国人学生支援の会
会長 土屋 直知

第186回「外国人学生が語るふるさとの街と福岡」講演会の開催 パレスチナ・ベツレヘムを紹介します

福岡外国人学生支援の会は、福岡都市圏に住む外国人学生の有意義な生活を支援するために市民、福岡市、福岡よかトピア国際交流財団（事務局）により結成された組織です。

当会では、福岡で学ぶ外国人学生にふるさとのことや福岡の印象を語ってもらう「外国人学生が語るふるさとの街と福岡」講演会を開催しています。

是非とも、市民の皆様への周知にご協力いただくとともに、当日の取材をお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和5年5月18日（木）18:30～19:30
2. 会 場 福岡市国際会館 4階 第1会議室
（博多区店屋町4-1）
3. 講 師 ダニヤ アルカティブ氏
パレスチナ・ベツレヘム出身
4. 定 員 33名 ※要事前予約
5. 聴講料 500円（但し、外国人学生は無料）
6. 申 込 要予約 ※定員に達し次第締切
電話、ファックス、または、メールでお申込みください。
※申込受付は令和5年5月1日（月）開始
7. 主 催 福岡外国人学生支援の会



講師：ダニヤ アルカティブ氏

【お問合せ先】



公益財団法人 福岡よかトピア国際交流財団 永瀬
福岡市博多区店屋町4-1 福岡市国際会館1階
TEL : 092-262-1700 HP : <https://www.fcif.or.jp/>

第186回 外国人学生が語る「ふるさとの街と福岡」 ～パレスチナ・ベツレヘム～

5/18 (木)

18:30～19:30

会 場 福岡市国際会館 4階
(福岡市博多区店屋町 4-1)
参加費 一般 500円
外国人学生 無料
定 員 33名 (要事前予約)



出典: [Unsplash](#) (左) Raimond Klavins, (中央) Toa Heftiba, (右) Sameeh Karram

パレスチナは、地中海東部に位置しており、約548万人が住んでいます。宗教は、イスラム教(92%)、キリスト教(7%)ほか。民族はアラブ人で、主要産業は、農・漁業(6.5%)、鉱工業・電気・水(12.1%)、建設業(4.7%)、小売業・貿易(18.3%)、金融・保険(4.5%)、公共・防衛(12.4%)など。

ベツレヘムはパレスチナ最大の観光地で、ミルク・グロットや世界遺産に登録されている「イエス生誕の地：ベツレヘムの聖誕教会と巡礼路」などがあります。また、バンクシーの代表作の一つである「花束を投げる青年」などのストリートアートが点在しています。

語り手 ダニヤ アルカティブさん

2022年3月に来日し、歯学を勉強しています。リビアで生まれ、パレスチナ・ベツレヘムで育ちました。ふるさとのベツレヘムは、長い歴史を誇る都市で、聖誕教会や宗教工芸品、刺しゅうが有名です。ファラフェルやフムスなどの名物料理もあります。福岡で一番好きな場所は、図書館や博物館、映画館やドームがある百道浜です。食事と言葉の面で困ることはありますが、福岡が大好きです。趣味は人前で話すこと、バドミントン、旅行。



問合せ先
申込み先



福岡外国人学生支援の会 (公財) 福岡よかトピア国際交流財団内
TEL: 092-262-1744 FAX: 092-262-2700
E-mail: attaka@fcif.or.jp
URL: <http://www.fcif.or.jp/event/hometown>

